

第8期多摩区地域福祉計画補完ツールの 策定について

✓ 前提

第8期計画では、市計画と区計画が一体化するため、これまで100ページ近くあった「多摩区地域福祉計画」のページは十数ページ程度に圧縮される。

⇒区計画を補完する「独自ツール」（取組集などの冊子等）を各区で作成可能。

✓ 多摩区で策定する補完ツールの目的

①区計画の内容をわかりやすく伝える

区計画に位置付けた方針・重点取組について、写真やイラストを活用し、読みやすく親しみやすい形で発信することにより、広く周知を図る。

②計画と現場の実践をつなぐ

抽象的になりがちな計画内容を、実際の取組事例や活動イメージとして可視化し、実践につなげる。

③地域資源や取組の共有・活用を促進する

地域の活動や資源を整理・発信し、関係者間の連携や新たな参加につなげる。

✓ 補完ツール策定の考え方

- 区計画の内容を補完しつつ分かりやすく伝えるとともに、地域で行われている多様な主体による活動を紹介し、「読む計画」ではなく「行動につながる計画（ツール）」とする。
- 従来の区計画概要版について「手に取りづらい」との意見があったことを踏まえ、図解や写真・イラストを中心に、直感的に理解しやすい構成とする。
- 参加団体や当事者の声を掲載し、事例を通じて“自分ごと”としてイメージしやすい構成とする。
- 計画に興味を持った方は、計画本体ホームページへの二次元コードから、詳細情報にアクセスできる仕組みとする。

✓ 補完ツールの構成（流れ）

